



中央はブレッド城、右は聖マルティヌス教会、左奥ユリアンアルプスに雲が掛っている

前回から紅葉写真繋がり、今回はスロベニアのブレッド湖を紹介します。スロベニアの北西部、オーストリアやイタリアとの国境に近いところにある長さ2.1km 幅1.4km程の氷河湖です。ユリアンアルプスの山並みも望め「アルプスの瞳」とも呼ばれるヨーロッパ有数の別荘地で、旧ユーゴスラビア時代のチトー大統領の別荘が、今はホテルになっています。

スロベニアで唯一の自然の島といわれるブレッド島が湖の中にあり、15世紀に聖アリア教会が建てられています。蛇足ですが日本の島数は6,900弱、島数世界一はスウェーデンで27万弱だそうです。以前ここにはスラブ民族の愛の女神シヴァの神殿があって、現在も愛の聖地とされ結婚式も多数挙げられていて、舟着場から98段の階段を新郎が新婦を担いで昇るとのことです。島には十数人乗りの手漕ぎボートPletnaで渡れ、その漕ぎ手は世襲で受け継がれているのでボートの数は増減しないそうです。大きな船もない湖の島にどうやって教会等を建設したのか、石材等建築材料運搬も大変だっただろうと思っていましたら、結氷した氷上を運んだという資料が後日見付き、「北海道の木材伐り出しは真冬」とか「シベリアの移動は冬の方が容易」などと昔聞いたことを思い出しました。温暖な地域の住人としては思いつき難い方法です。



ブレッド島



ユリアンアルプス最高峰トリグラフ山 (2,864m) は雲の中



朝霧の中を、Pletna でブレッド島へ



聖マリア教会 52m の塔



Pletna の漕ぎ手は世襲制



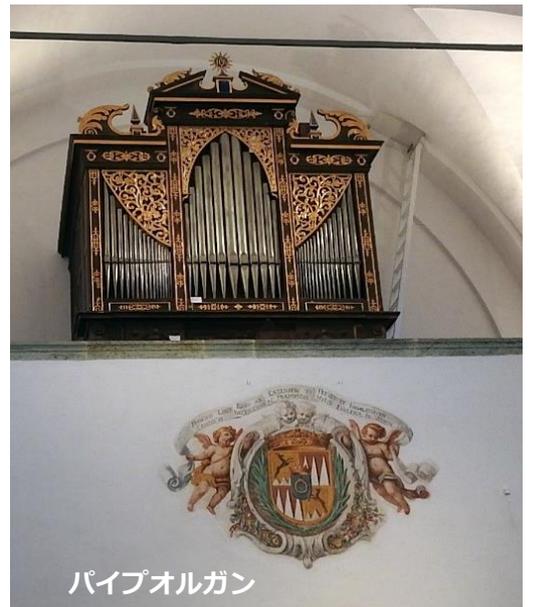
新婦を担いでこの階段を！！



樹木に寄生木がいくつも



教会内で、誰でも自由に綱を引いて鐘を鳴らせる



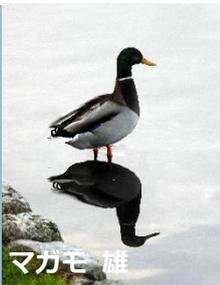
パイプオルガン



ブレッド城と、右はホテルヴィライストラ



カワウ



マガモ 雄



マガモ 雌



クロウタドリ



コブハクチョウ

湖畔のブレッド市は、色々なスポーツや登山の拠点になっているようで、立派なスタジアム・スポーツホールブレッドもありました。そのすぐ隣の市庁舎の前庭に、秋篠宮同妃両殿下が 2013 年に植樹された桜の木があります。2015 年にその記念プレートを交換したようで、次の在スロベニア日本国大使館のHPにそのことが記載されています。その両者に立ち会った当時の駐スロベニア大使は、私の高等学校の同級生でした。桜は、そろそろ花見が可能かも知れません。

[https://www.si.emb-japan.go.jp/website\\_jp/cherry\\_tree\\_Bled\\_2015.html](https://www.si.emb-japan.go.jp/website_jp/cherry_tree_Bled_2015.html)



ブレッド市庁舎



桜

我が家から成田に向かい、飛行機でドイツのフランクフルト乗継でオーストリアのグラーツに着き、バスで国境も越えて 215km、ブレッドのホテルまでちょうど 24 時間程掛かりました。やっと世の中が少しずつ動き出しましたが、このような海外旅行が自由にできる日は、まだしばらく先になりそうですね。 (写真撮影：2016.10.27)

< [グーグル地図参照](#) > 市庁舎前のストリートビュー (2018 年 5 月更新) で、旗の近くに桜の木も見られます。

ブレッド湖 <https://www.google.co.jp/maps/@46.3653182,14.0898746,14.88z>

ブレッド市庁舎 <https://www.google.co.jp/maps/@46.3686942,14.1091813,19.37z> (2021.11.01)